

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

八幡待夫鐵道會談議事録

一日 時 昭和十八年九月十三日 (月曜日) 11:00 - 1:30

二場 所 商工大臣官邸會議室

三出席者

商 工 省

高嶺金壽司長、末水八幡待夫理長、岡村鐵道第一課長、久保事務官、高橋技師、那須技師、藤間技師

海 軍

整備局大橋少佐、兵器行政本部野田少佐、航空本部成田少佐、田畑中尉、八幡海軍監督官村田少將、河井中尉

海 軍

航空本部安本大佐、八幡海軍監督官栗谷大佐

鐵道新制會

山田待夫鐵道部長、特設部南

日 鐵

田社長、進來建設局長、水谷作業局長、櫻井工

作局長、野本建設司次長

議事經過

1. 岡村課長ヨリ九月四日朝催ノ運命談以後今日迄ニ處置セラル事項ノ概要ニ付報告アリ

主要ナル項目左ノ如シ

イ、基礎工專用杭打ノ件

ロ、五〇馬力織機記重機及五馬力人コ重機ノ件

ハ、四〇馬力人起重機ノ件

ニ、八〇馬力履用ロツカー及ローヤートラツクノ件

ホ、八〇馬力履用車動金物及變車兼ノ件

ヘ、一八馬力弧光式電氣燈々体ノ件

ト、木材、ロメント等確保ノ件

2 日 鐵田社長及工作局長ヨリ石ノ説明ヲ補足シテ詳細報告アリ

3 尚村課長ヨリ顧問ノ連名會議ノ際本日ノ會議ニ於テ報告スルコト

トフル工專全般ノ完成時期ニ付報告アリ即チ第一號平爐ハ三月末

完成シ四月一日ヨリ火人榮業開始ノ運びニ至ル見込ナルモ第二號

爐ハ五月末第三號爐ハ七月末夫々完成スベシトノコトナリ、細部

ハ日鐵ヨリ報告スルコトトス

4 末永八幡監理長ヨリ完成時期ニ關スル詳細打合ノ結果ニ付報告アリ

リ即チ全部三月末完成ノ意氣込ニテ日鐵ニ當リタルセ全鐵富事者
トシテハ最初ノ豫定ニテハ來年九月末完成ニシテ半年繰上ゲタル
ハ非常ナル無理ガ半フモノニシテ三月末ニ一基完成ガ斷ク可能ト
言フ程度ナリ、三基全部完成ハ尙對ニ不可能ナリトノコトニテ、
海軍省督官トモ丁合セタル結果已ムヲ得ナルベシトテ一基三月末
一基五月末、一基七月末完成ニ決定シタル次第ナリトノコトナリ

5. 日鐵ヨリ工事ノ現況及完成時期ニ關シ詳細報告アリ
即チ現況トシテハ去ル九月七日ヨリ基礎工費用ノ杭打ヲ實施中ニ
シテ十月七日ニハ完了ノ見込ナリ、又建築ノ圖面ハ今月一杯ニ八
幡到着ノ見込ナリ、完成時期ハ最良ノ條件ニ於テ三基共三月末乃
至四月上旬完成可能ナルモ機械ノ故障、天候等ヲ考慮セバ繰ニ進
ベタル如キ完成時期トナル、現在ノ處ハ結司杭打完了時期ガ完成
時期ヲ左右スル狀況ナリ

6. 海軍側ヨリ機械器具類ノ調達ヲ商工省ニ於テ斡旋シ居ルモ、略ニ
空當リタル都度海軍ニ之ガ打請方要索セララルルハ結司工事ノ遅延

ヲ求スコトトナシニ付取得幹旋ノ經營區分ヲ決定シ夫々ノ分區ニ
於テ確保ヲ圖ルノ要アル旨提言アリ

7. 日鐵鐵田遊長ヨリ左ノ如キ提言ノ提言アリ

一 工事完成期

第一號平爐 昭和十九年三月末

第二號平爐 昭和十九年五月末

第三號平爐 昭和十九年七月末

出鋼ハ工事完成二週間後トス

第二號以下ノ平爐完成期ハ一應ハ右ヲ目標トセルモ建設關係

者懸命ノ努力ニ依リ極力之ガ繰上ゲヲ圖ルコト

一 資材ノ隘路打開ノ爲ニハ昭和十八年八月二十一日陸海商工三省

閣覽書ノ趣旨ニ依ルモ尙特ニ左記事項ニ付留意願フコト

(一) 機械器具、二次製品及木材ノ確保ニ關スル件

現在ノ情勢ニ於テハ機械器具、二次製品及木材ノ急遽確保

ハ極メテ困難ナルニ依リ之等ノ確保ニ就テハ優秀造修能力
ノ大部分ガ軍需運下ニ在リ且余裕ナキ實情ニ鑑ミ陸海軍ニ
於テ直接軍需トシテノ取扱ヲ得以テ凡ユル障礙ヲ除去セラ
レタキコト

(二) 資材、機械、製品等ノ輸送ニ關スル件

軍需品ト同様優先第一ニ取扱ハレタキコト
要スレバ航空第一ノ趣旨ニ依リ特別ノ標識ヲ附シ他貨物ト
ノ識別ヲ明瞭ニセラレタキコト

(三) 勞務ノ確保ニ關スル件

建設及作業遂行ニ適當ナル素質ヲ有スル所要勞務員ノ確保
ニ關シ充分考慮セラレタキコト

一 本件ニ依リ生産セラレタル鋼塊ヲ製品化スル爲ノ施設ニ關シテ
ハ別途計畫中ニ付成果ヲ待次第引續キ提出協力ヲ求メントス
陸海軍、同工省共與存ナキ旨回答ス

〇和ハ鐵道省ニ連絡シ、外ハ同省ニ連絡シトス
輸送力、同省ニ連絡シテ

8. 日鐵ヨリA、Bノ派分案提示アリ、本日午後商工省、日鐵間ニテ
協議決定ノ上公文ヲ以テ陸海軍ニ其旨通知スルコトトス

9. 今後ノ専務連絡ノ關係上、關係官廳ノ専務擔當者ヲ決定シテハ如
何トノ海軍ヨリノ發言ニ差キ左ノ如ク決定ノ上解散ス

陸軍 整備局戰備課大橋少佐、航空本部整備部生産課成田少

佐(副任 高井技師
田畑中尉)

海軍 兵備局

航空本部第一部第四課安本大佐、下川中佐

商工省 岡村鐵鋼第一課長、石田鐵鋼第二課長、久保専務官、

高橋技師

日鐵 進京建設局長、野本次長、辻技師

八陸海空軍省聯合會議事錄

一、日 時 昭和十八年九月二十三日 一四〇〇—一六〇〇

二、場 所 商工省第一會議室

三、出席者

陸軍省整備局 松爪中尉

陸軍兵器行政本部 真多中尉

海軍航空本部 下川中佐

商工省金屬局 岡村課長、久保課長、久保課長、久保課長、久保課長

山縣建設部長

日本銀行(空計) 豐田課長、進取課長、進取課長、進取課長

山縣建設部長、武藏土積課長、武藏土積課長、武藏土積課長

空席主席

(八陸) 小平陸海空軍省

四 議 事 進 捗

前 村 團 長 前 回 運 送 會 議 以 後 執 行 各 種 接 置 ノ 進 捗 ニ 於 於 告 ノ 後
本 体 運 送 ノ 緊 急 性 ニ 鑑 ミ、 策 ヲ 提 示 説 明 ス、 即 ち
イ 日 他 ガ 本 体 運 送 ヲ 確 立 スル ニ 當 リ テ ハ 陸、 海、 空 三 省 共 同
責 任 ノ 下 ニ 之 ガ 促 進 ヲ 圖 リ 商 工 省 ハ 直 接 ノ 責 任 官 廳 ト シ テ
之 ガ 進 進 ニ 當 ル コ ト

只、 本 体 運 送 ノ 完 成 時 期 ヲ 左 ノ 程 予 定 ス ル コ ト
第 一 時 平 價 昭 和 十 九 年 三 月 末
第 二 時 平 價 昭 和 十 九 年 三 月 末
第 三 時 平 價 昭 和 十 九 年 七 月 末

ハ、 本 体 運 送 設 置 ニ 要 ス ベ キ 資 材 ノ 獲 得 及 積 貯 ノ 製 作 促 進 ニ 關
シ テ ハ 左 ノ 方 法 ニ 依 ル コ ト
(1) 所 要 資 材 ノ 原 則 ト シ テ 商 工 省 ニ 於 テ 獲 得 ス ル コ ト
(2) 所 要 機 械 ノ 製 作 ニ 關 シ テ ハ 報 紙 ニ 登 載、 海、 空 三 省 ニ
於 テ 各 省 シ 夫 々 ノ 責 任 ニ 於 テ 之 ガ 促 進 ヲ 圖 ル コ ト

(9) 電ニ於テ促進ヲ為セル機體ノ製作用材料ニ關シテハ取敢
ズ電ノ地ヨリ立テヘ移動化シタル後電工管ヨリ地ノ電管ヲ
行フコト、

ニ本條設備建設促進ニ關スル運輸會議ノ旨趣、茲、第三會議ニ
運輸會議會ヲ設置シ定期的ニ互ハ必要ニ應ジ運輸中央ヲハ設
キニ於テ之ヲ開催スルコト

邊來建設局長 陸海ニ關シ特別ノ擔當制度、本條電管中ニ建設ノ
任モ入レラレタシ

岡村課長 陸海ニ付テモ鐵、煤、石各各條ニ賦ビ現狀差違夫々
ノ責任ニ於テナスモノナルモ、電管ノ手前ニ關スル事項ナルヲ以
テ方針ヨリハ陸海シタリ

下川中佐 本條電管中電工管ガ擔當官トシテ推進ニ當ルト云フ
ノハ不可ト云フ

藤爪中尉 八二三會議ニ於テ對メテ陸海陸海イデハナイ方

岡村部長 商工省ハ商社ヲスルヲ認メアル
 下川中佐 一本ニ行カヌ故ニ認メテテカラメテ認メスル
 岡田部長 建設ノ問題ニ付テハ認メテ認メス、尙工作部ノ認メテモ
 下川中佐 可ナリ
 岡村部長 陸、海軍ハ電ノモノトシテ認メテ認メ可ナリヤ
 真田大尉 可ナリ
 岡田部長 三會會議ニハ日清社長又ハ日清理事ノ出席スル事願
 岡村部長 「オプザイバー」トシテ出席願フ者ヘナリ、日清ヨリ
 工事進捗状況説明サレタシ
 日清社長 土管理事及日清理事ヨリ夫々別室ニ於テ説明ス
 岡村部長 今般ノ進捗状況ヲ願フナラシムル旨説明シテ工務部ヲ作
 成セラレタシ
 進捗状況説明 至急作成願フ
 147

田畑中隊 木村ニ附ツテキル由ナルモ其ノ旨當方へ連絡サレタシ
 武道土産課長 尙良ク該隊へ照會ノ上於知事キ候ハ連絡スル所何
 公共官署課長
 田畑中隊 夜間工事ノ照照ノ任ハ該隊ノ方如何ナリオルヤ
 田畑中隊 該隊司令部ト打合テニ付善宜ヘナシ
 榎爪中隊
 久保課長官 A、Bニテ該隊ヲ分隊セララルル機ノ動作用該隊ノ
 取極ニ當リテハ電ニ於テ其ノ油内ニ於テ之ガ理物化ノ手続ヲ取
 ツテ預キ後ニ〇ノ油カラ振替ヘルコトニ對摩モ如何
 鹿間大尉
 下川中佐 馬鹿ナシ
 野村課長 蓋シ杭打ハ予定通り出来ルヤ
 進來課課長 該隊ガ予定ヨリ遅レシモ當所杭打機等ノ設置ガ
 七台準備ケルト風ハレルカラ進歩クト思フ

武道士等長 平第一差額ノ完成ニハ支障ナシ
 田村課長 セメント自來使用手續業如何、支障ナキヤ
 辻技師 手續業ナリ、支障ナシ
 田村課長 日給ハ河カ要求ナキヤ
 進來澤課長 本日ハ無キモ次回ハ巨ク買ベテ來ル故宜成程度
 下川中佐 八〇噸平燐用備金物ハ取戸製機ノミトナリ居ルモ機
 ノ加工ハ大谷ニセリ、大谷ニハ日本製管ノモノ先行致シ居リ又機
 戸製機ニハ管管ノ高射砲機アリ、海軍ノミニテハ處理不可能ナ
 ル故夫々協力アリタシ
 田村課長 一八噸電氣機東邊道下ノ松崎軍ノ方如何
 田村中尉 製作者大同製機ニ於テ機ニ發送荷差中ナリ
 田村課長 次回道差會議ハ來道會日機製機差度

(敬 命)